



令和3年度甘味資源作物及びでん粉原料用甘しょ 生産者交付金単価等が決定！！

令和3年度の甘味資源作物及びでん粉原料用甘しょの交付金単価と生産振興対策が決定しました。当JAとしては、きび甘諸振興会代表と農林水産省に出向いて、直接、農林水産大臣に種子屋久管内の厳しい農業実態を伝え、単価引き上げの要請を行った結果、サトウキビは前年と同価格を維持し、でん粉原料用甘しょは3年連続の引上げとなりました。

1. 生産者交付金単価等について

(1) サトウキビ

①生産者交付金

(単位：円 / トン)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	対前年比
交付金	16,630	16,730	16,860	16,860	0

※糖度が13.1～14.3度帯の場合の交付金単価

(2) でん粉原料用甘しょ

①生産者交付金及び原料代

(単位：円 / トン) (俵 / 37.5kg)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	対前年比
交付金	26,000	26,610	26,890	27,660	+770
原料代	9,320	9,695	9,717	10,143	+426
合計	35,320	36,305	36,607	37,803	+1,196
俵換算	1,325	1,361	1,372	1,417	+45

※基腐病対策としての圃場からの収穫残渣持ち出し経費を含む

2. 生産振興対策について

(1) サトウキビ

- ①土づくりや優良品種への転換等の取り引き、生産基盤の整備、機械化一貫体系を前提とした作業受託組織等の育成・強化等、産地の生産性向上の取り組みを支援。
- ②自然災害からの生産回復等を支援するためのセーフティネットとして、「さとうきび増産基金」の予算を引き続き確保。

(2) でん粉原料用甘しょ

- ①多収新品種（こないしん）への転換や生分解性マルチの導入、省力化や作業受委託の拡大を図るために農業機械の導入等、産地の生産性向上の取り組みを支援。
- ②サツマイモ基腐病への対策として、被害地域の実態等を踏まえ、次期作への被害を最小限としながら、かんしょ生産を継続的に行うための支援を実施。

